



写真右／本坊跡の石積み

写真左／等妙寺旧境内遠景（清延地区から）

左 図／国史跡指定範囲

## 等妙寺の歴史

等妙寺の大きな特色の一つは、この寺院が創設されるに至った経緯にあります。鎌倉時代は、日本仏教の大きな転換期といえる時代で、それまでの鎮護国家を祈る朝廷や公家などの上位階級のみを対象とした仏教から、一般庶民など幅広い階層を対象に救済しようとする仏教へと新たな気運がもたらされた時代でした。こうした中で新たに誕生した宗派は、それまでの仏教

に対して鎌倉新仏教として区別されています。等妙寺は、高僧恵鎮<sup>えちん</sup>を中心とした教団（のちの法勝寺流）によって全国的な戒律復興運動を行うために築かれた「遠国の四箇戒場」の一つであることから、近年の研究により、天台律宗という新仏教として考えられるようになりました。